

2022 年度プレアボイド報告事例の分析

はじめに

当薬局では、患者様に提供する医療の質の向上を目的として、薬局における医療情報や調査情報を活用した研究を実施しております。内容については下記のとおりとなっております。

尚、この研究についてご質問等ございましたら、最後に記載しております[問い合わせ先]までご連絡ください。

研究題名	2022 年度プレアボイド報告事例の分析
研究責任者	I&H 株式会社 学術研修部学術課 課長 川島 誠
他の研究機関及び 各施設の研究責任者	該当なし
本研究の目的	本研究では、収集されたプレアボイド事例を分類・分析し、当社グループ内で共有して今後の薬学的介入へ活かすことを目的とします。研究結果をグループ内で共有することにより、薬局薬剤師の薬学的管理の一助となり、知識を増やし、薬物治療に貢献できることが期待できます。また、事例を共有することで次のプレアボイドを生み出すことも期待されます。
調査データ該当期間	2022 年 8 月 1 日～2023 年 3 月 31 日
研究の方法 (対象となる方)	2022 年 8 月 1 日～2023 年 3 月 31 日の 8 か月間で当社プレアボイド事例報告に報告された 310 件。報告内容には、患者様の氏名や住所など、個人を特定できる情報は含まれておりません。報告のために個人を特定できる情報は収集しませんが、本研究において情報の使用を拒否される方は下記お問い合わせ先までご連絡ください。可能な限り情報の内容、報告日時等を考慮し、情報を特定できた場合は削除いたします。なお、研究結果が論文等で公表されている場合、個人が特定できない場合などには、情報を廃棄できない場合もありますので、ご了承ください。
研究の方法 (使用する情報)	使用する情報は、報告者(店舗名)、患者の性別、年齢、プレアボイド事例関連医薬品名および用法用量、プレアボイドの分類、発見の経緯、経過とし、個人を特定できる情報は収集しません。
情報の他機関への提供	他機関への情報提供はありません。
情報の管理について責任 を有するもの	I&H 株式会社 調剤薬局事業支援本部 学術研修部学術課
個人情報の取り扱い	利用する情報に氏名や住所等の患者様を直接特定できる情報はありません。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。
その他(用語の説明)	プレアボイド: Prevent and avoid the adverse drug reaction (薬による有害事象を防止・回避する)という言葉に基づいた造語です。薬局薬剤師が、薬学的ケアを実施し、患者の不利益を回避あるいは軽減した事例のことをいいます。
お問い合わせ先	I&H 株式会社 調剤薬局事業支援本部 学術研修部学術課 TEL 0797-35-6216